

はじめよう経済学⁺*Plus*
第1講 市場(続)

講師：加藤 真也

今回(第1講)は…

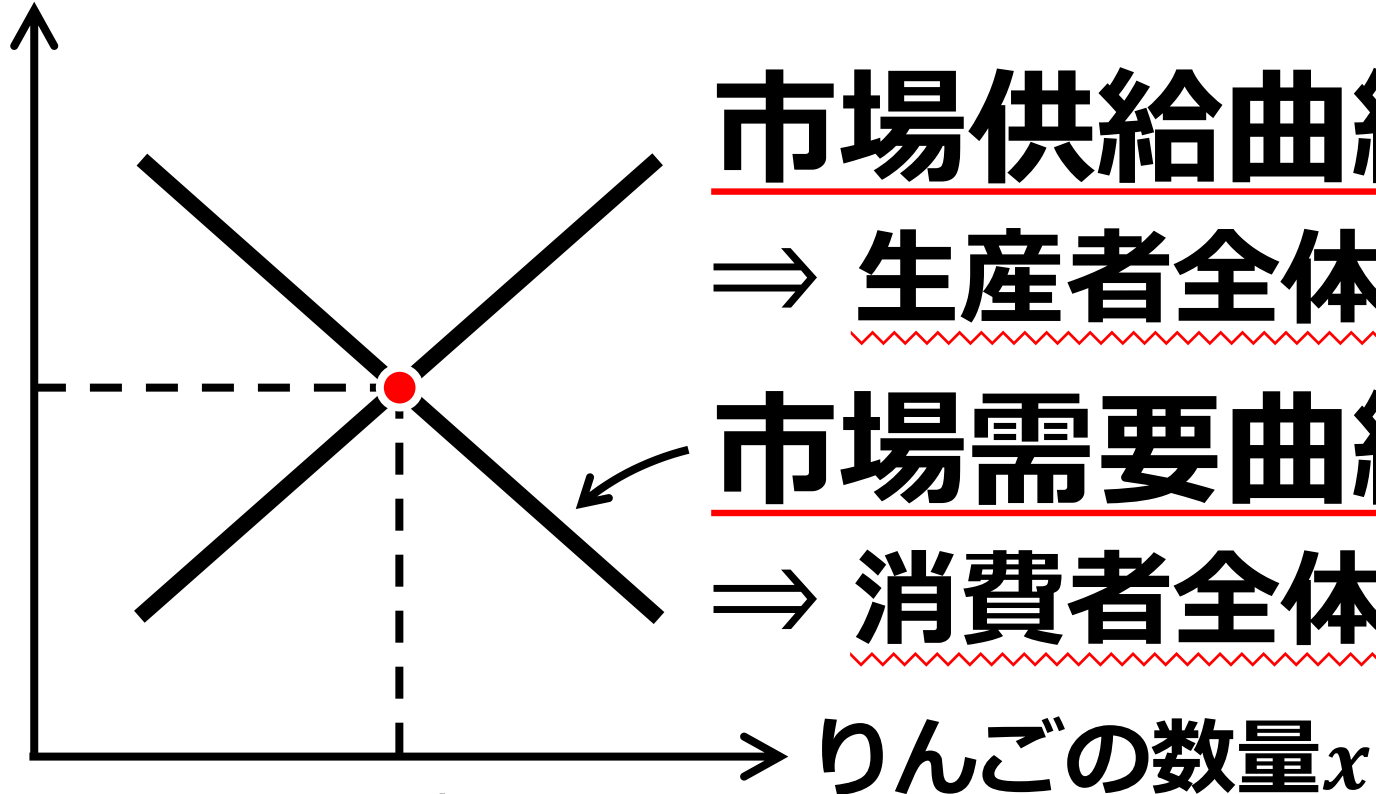
- **市場需要曲線の導出**
- **市場供給曲線の導出**
- **従量税**
- **税の転嫁**

(復習)市場

りんごの価格 P

均衡価格

P^*



市場供給曲線 S

⇒ 生産者全体の S 曲線

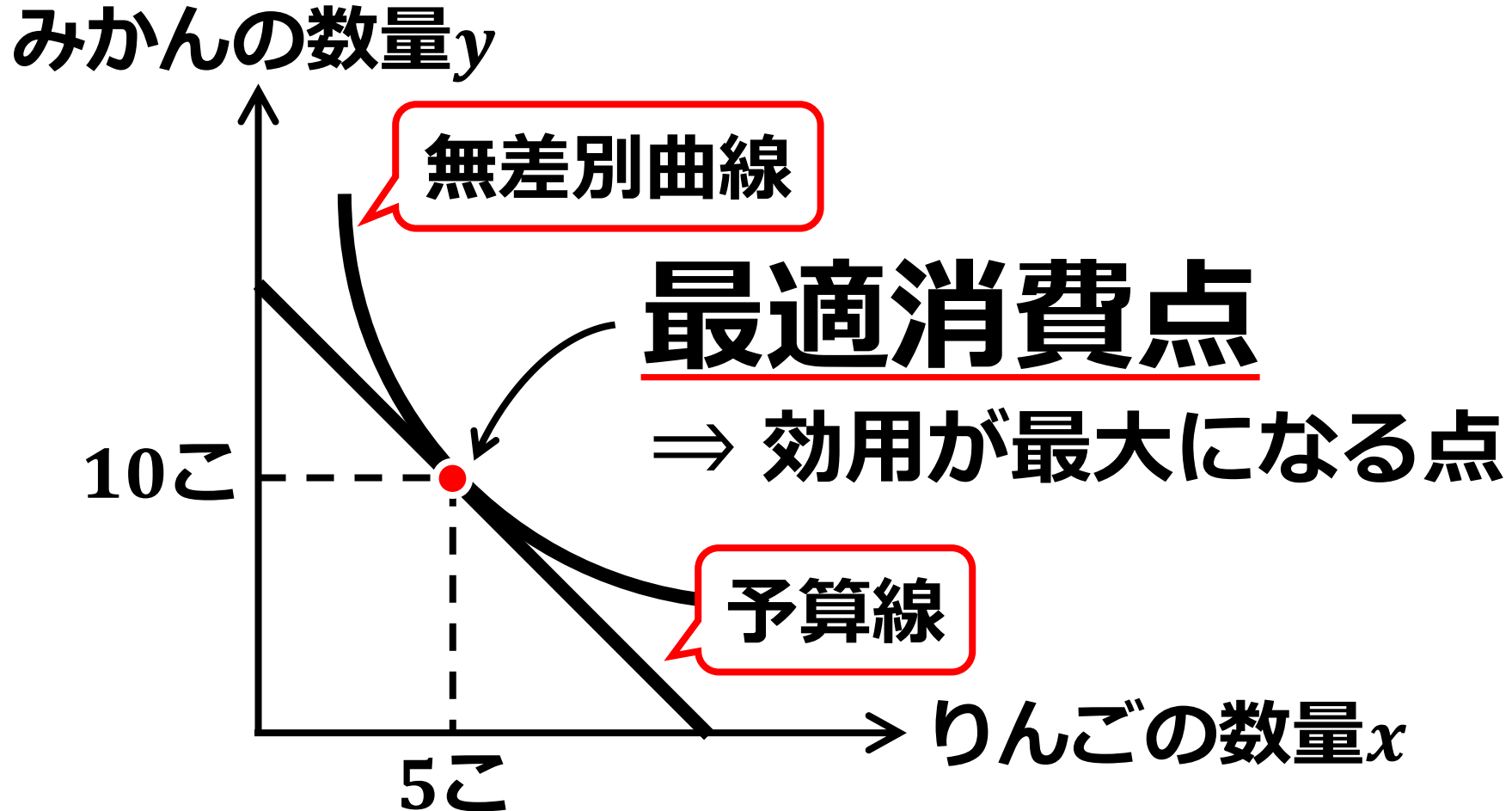
市場需要曲線 D

⇒ 消費者全体の D 曲線

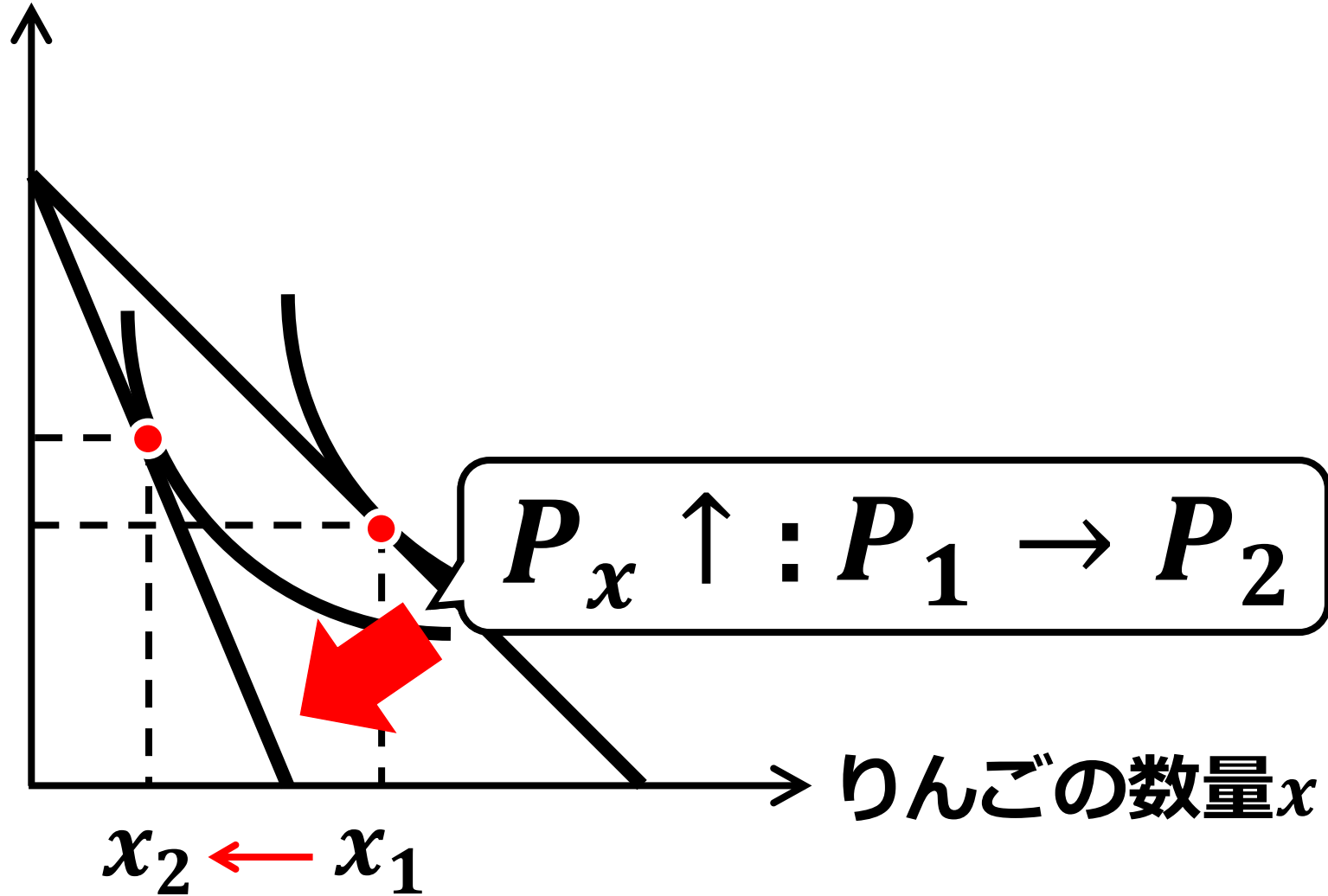
x^*

均衡数量

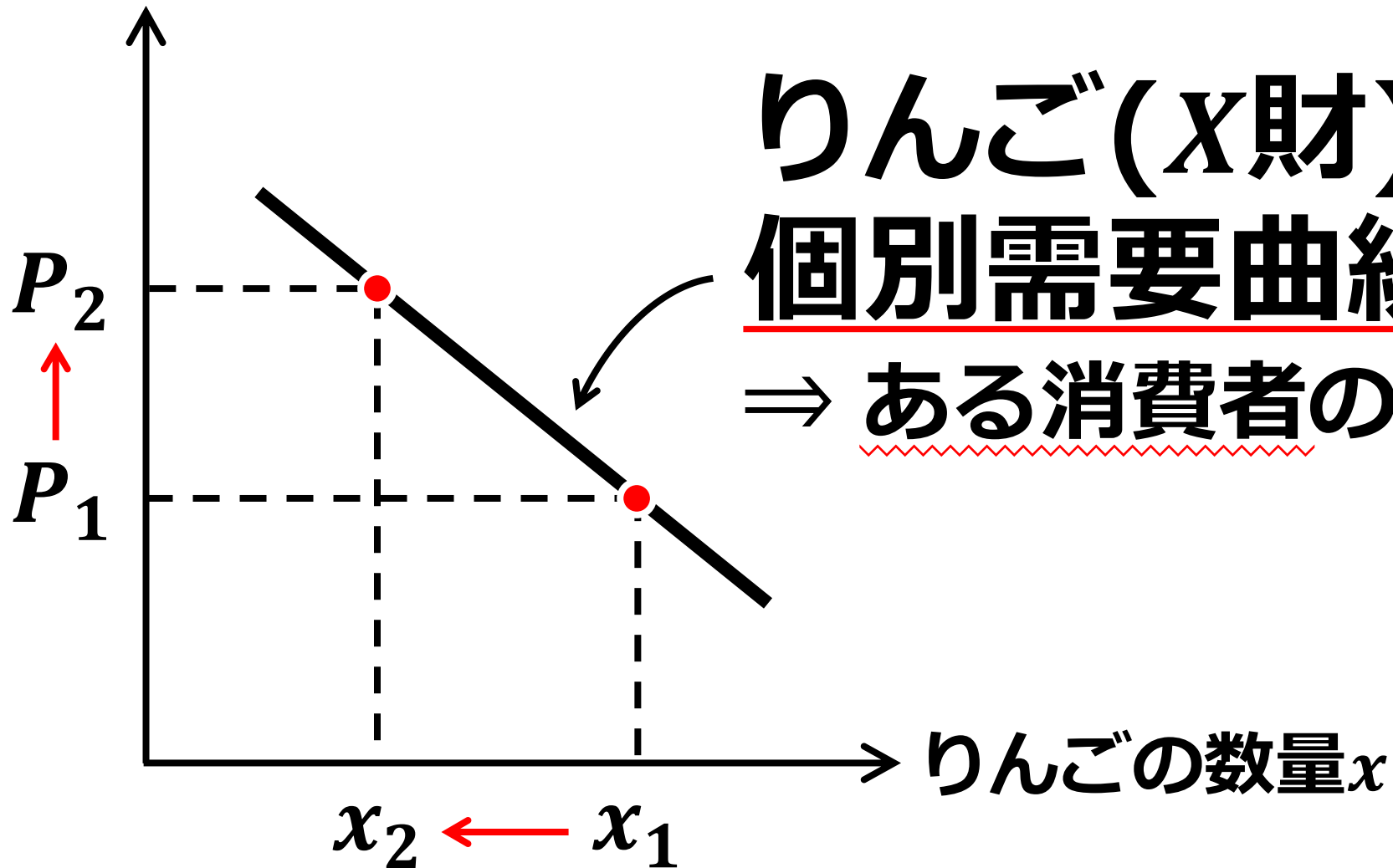
(復習) 効用最大化



みかんの数量 y



りんごの価格 P_x



りんご (X 財) の
個別需要曲線

⇒ ある消費者の D 曲線

- **個別需要曲線の水平和**

Aさんの個別需要曲線 D_A

$$x_A = -P + 10 \rightarrow P = -x_A + 10$$

6 ←———— 4

Bさんの個別需要曲線 D_B

$$x_B = -P + 8 \rightarrow P = -x_B + 8$$

4 ←———— 4

市場需要曲線D

$$x = x_A + x_B$$

$$= (-P + 10) + (-P + 8)$$

$$\boxed{6+4} = -2P + 18 \quad : D$$

10 ← 4

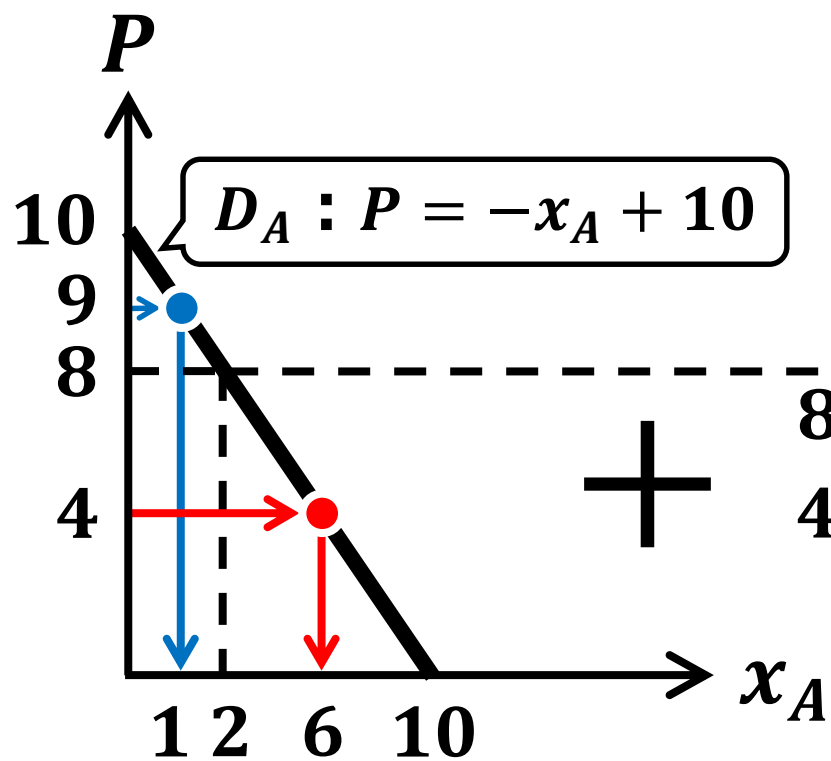
$$\rightarrow 2P = -x + 18$$

$$P = -\frac{1}{2}x + 9 \quad : \text{逆}D$$

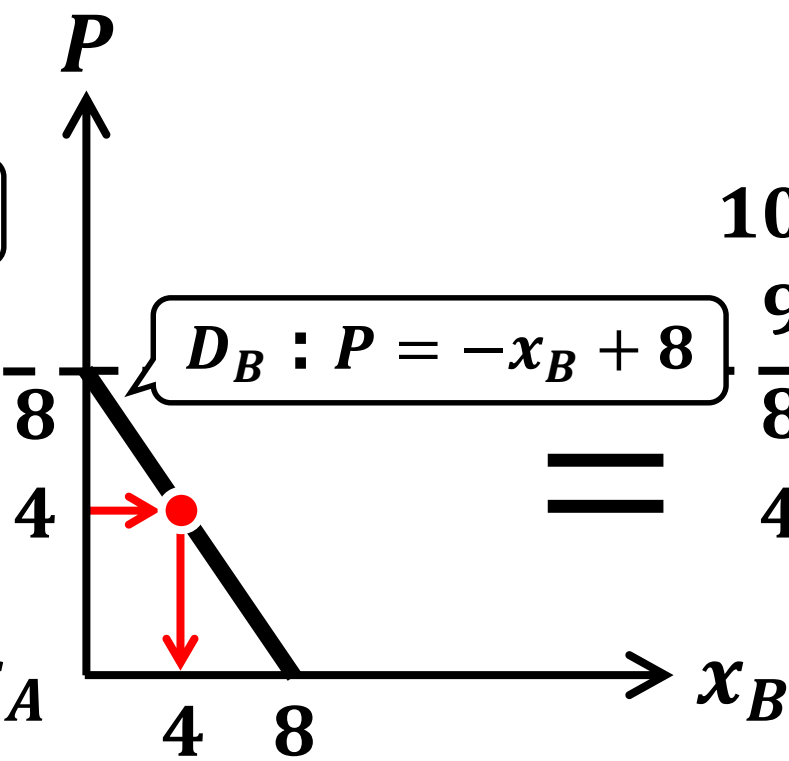
水平和のイメージ

需要曲線バージョン

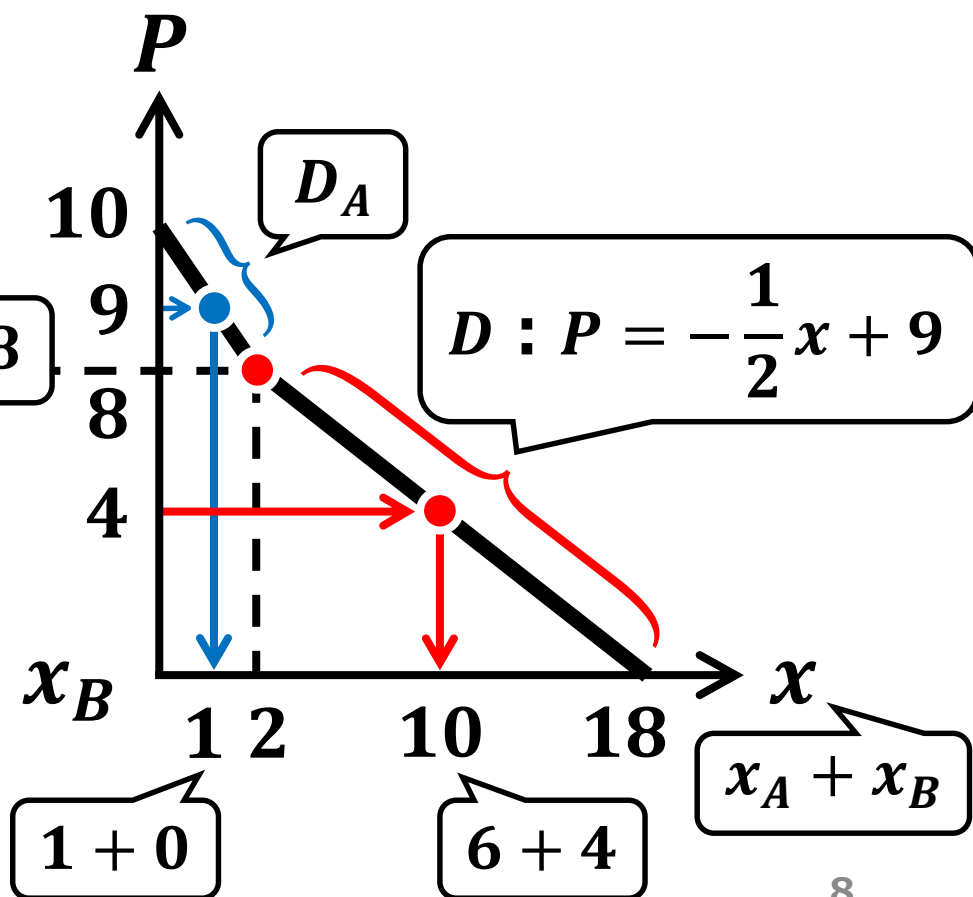
Aさんの個別需要曲線



Bさんの個別需要曲線



市場需要曲線



ポイント

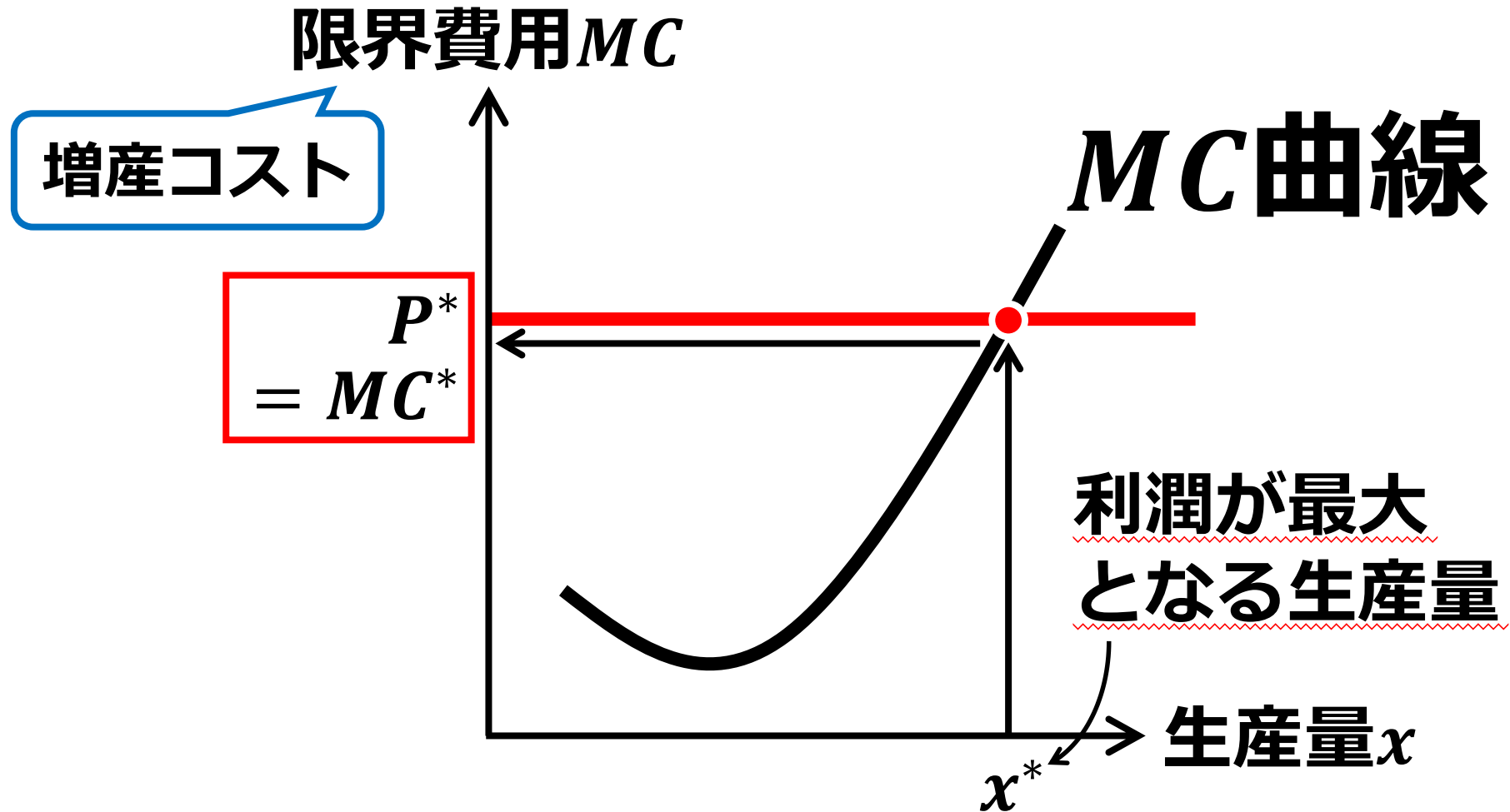
水平和(横に足し合わせること)

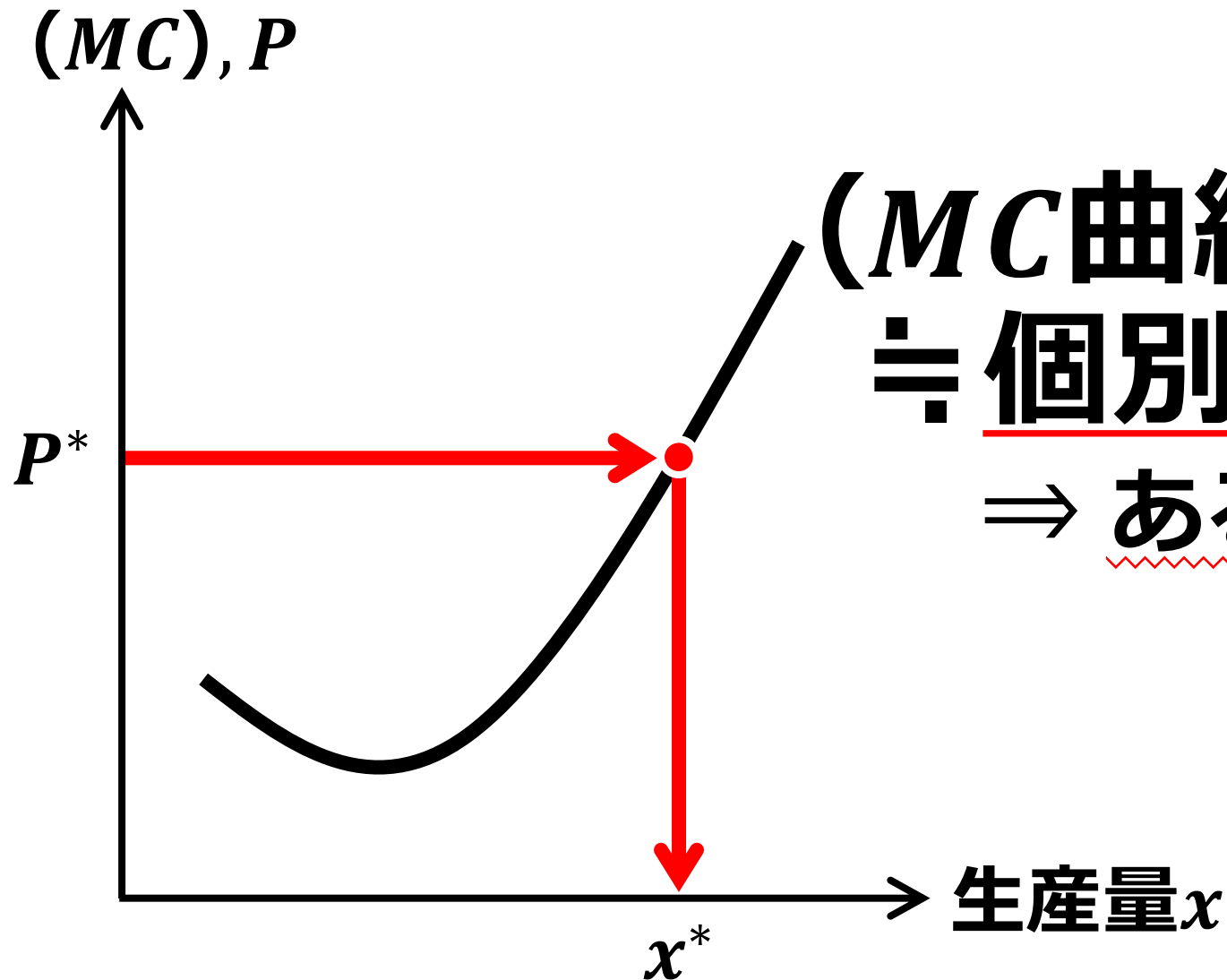
$$: x = x_A + x_B$$

「 $x_A = \dots$ 」の形で足す

注意. 逆需要関数の形「 $P = \dots$ 」
で足してはいけない

(復習) 利潤最大化





(MC曲線)
≡ 個別供給曲線
⇒ ある生産者のS曲線

- **個別供給曲線の水平和**

企業Aの個別供給曲線 S_A

$$x_A = P \quad \rightarrow \quad P = x_A$$

6 ←———— 6

企業Bの個別供給曲線 S_B

$$x_B = P - 2 \quad \rightarrow \quad P = x_B + 2$$

4 ←———— 6

市場供給曲線S

$$x = x_A + x_B$$

$$= P + (P - 2)$$

$$\boxed{6+4} = 2P - 2 \quad : S$$

10 ← 6

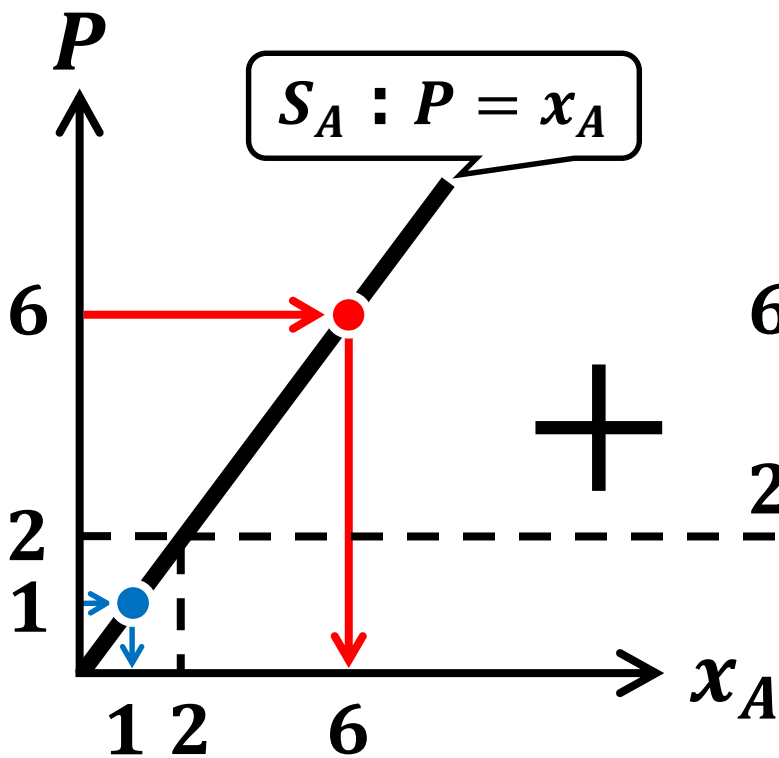
$$\rightarrow 2P - 2 = x$$

$$P = \frac{1}{2}x + 1 \quad : \text{逆}S$$

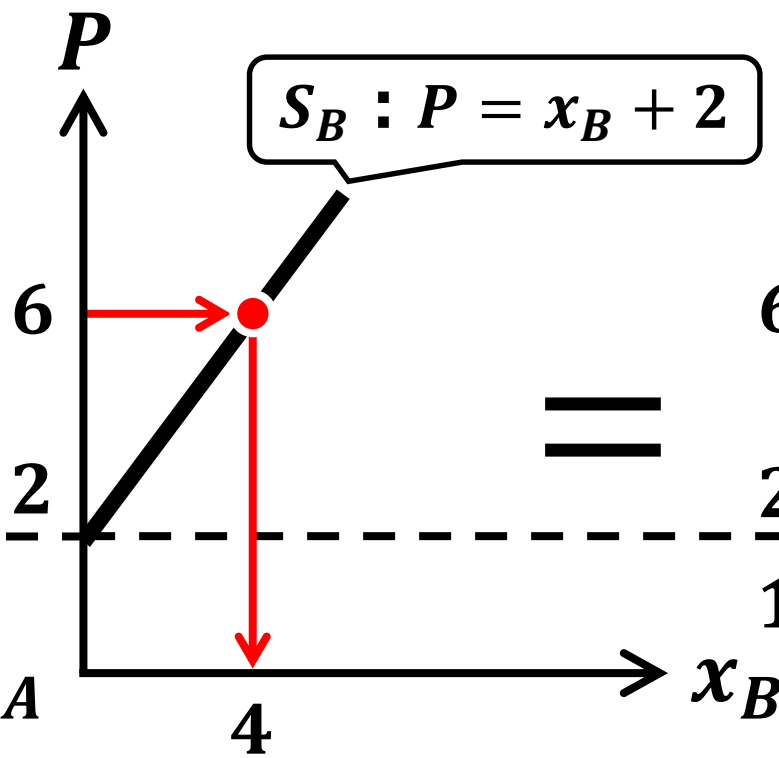
水平和のイメージ

供給曲線バージョン

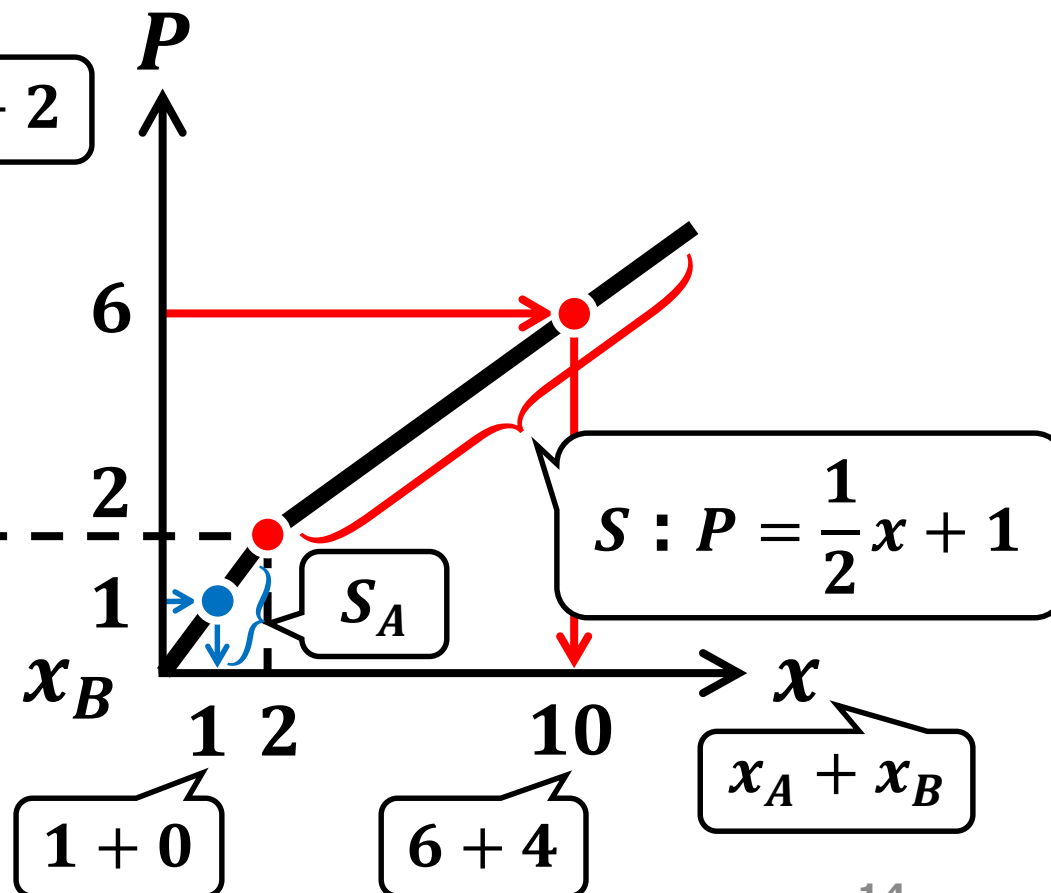
企業Aの個別供給曲線



企業Bの個別供給曲線



市場供給曲線



従量税

具体例：酒税、たばこ税

：1つ生産するごとに^{Tax} T 円課税

⇒ 限界費用 MC に $+T$

例. 個別 S : $P = \underbrace{2x + 3}_{MC}$

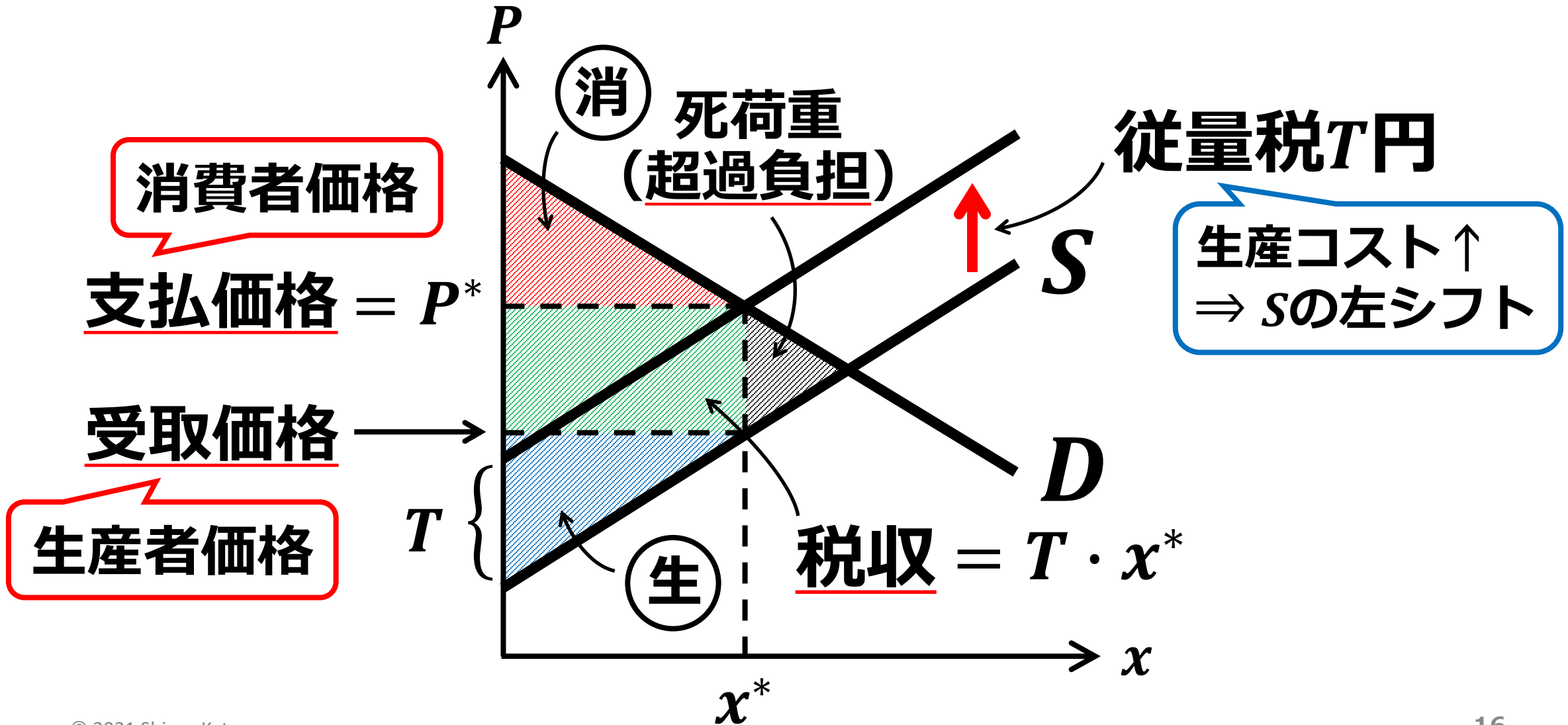


個別 S' : $P = 2x + 3 + T$

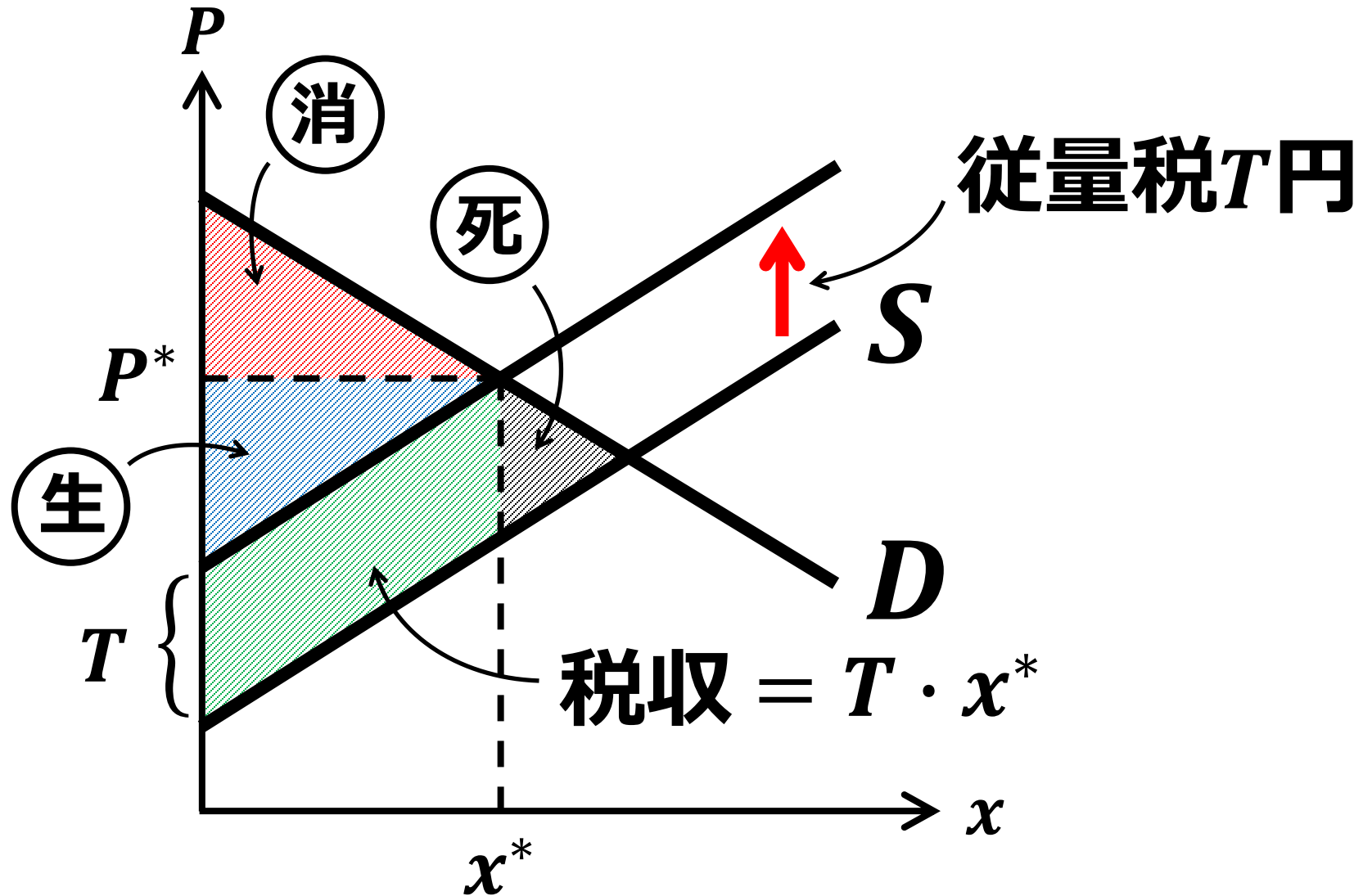
切片が $+T$

⇒ 市場 S の切片も $+T$

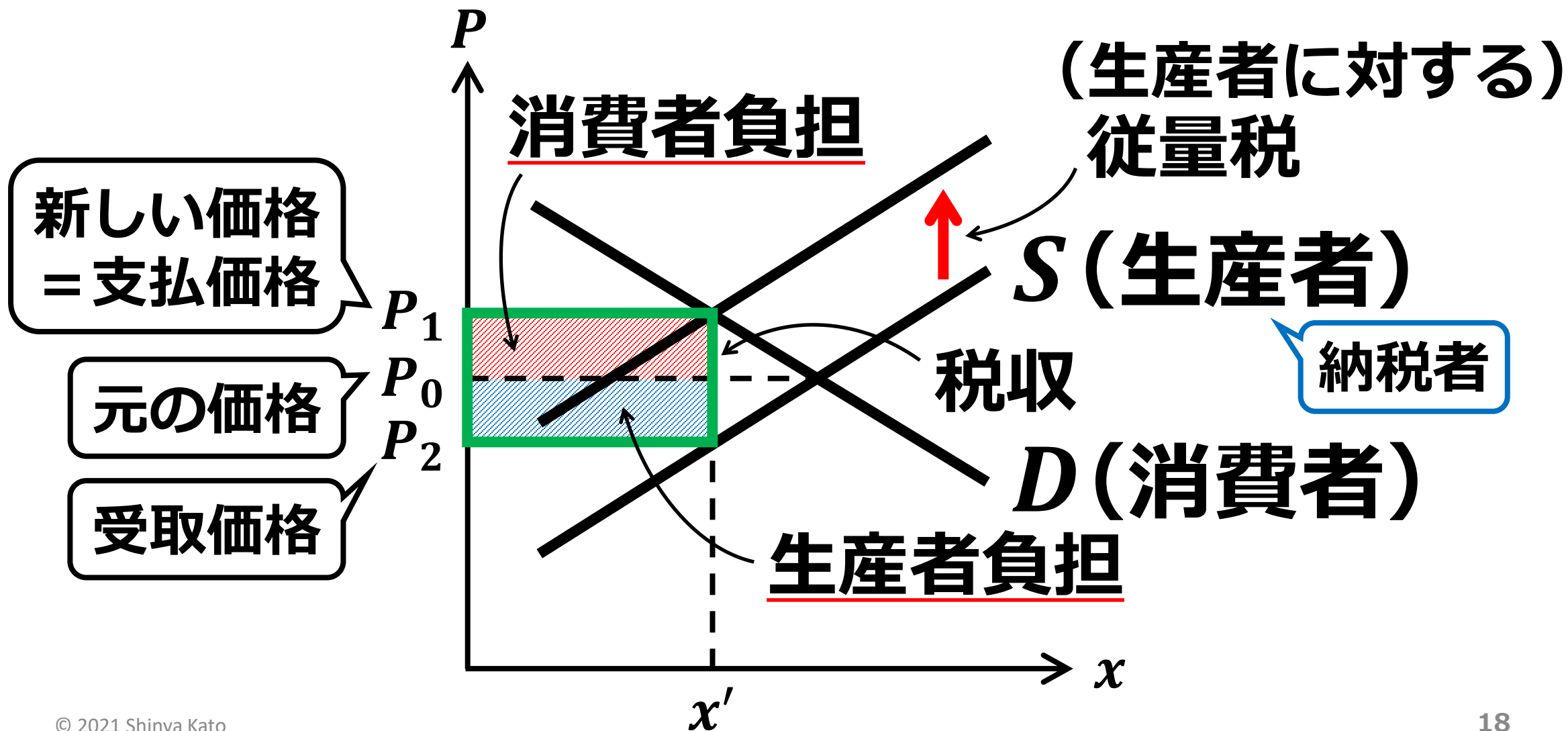
従量税の余剰分析



別の書き方



税の転嫁



税の転嫁

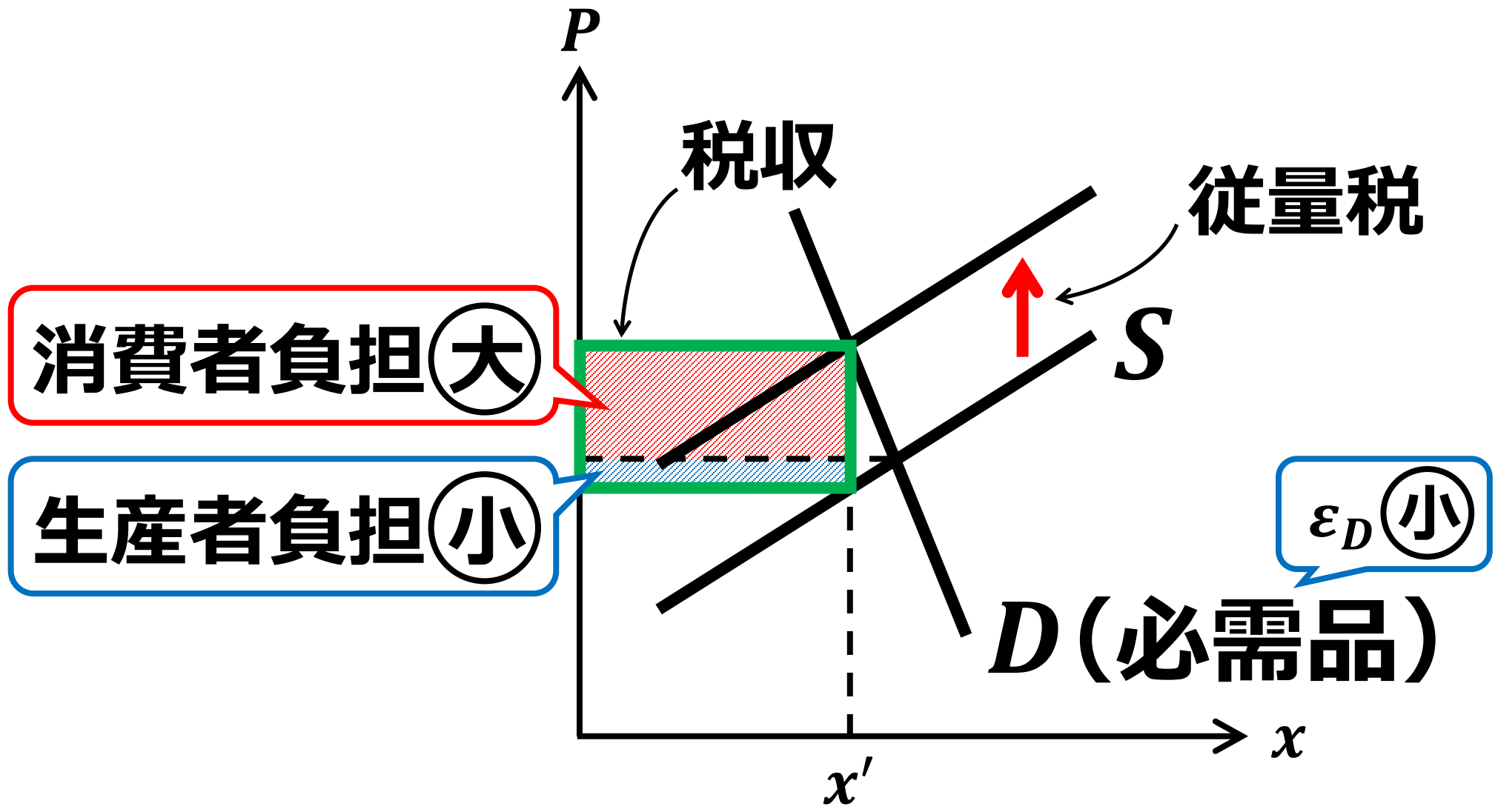
消費者

：納税者が他の者に一部

生産者

税の負担を負わせること

⇒ 必需品であるほど、
消費者への税の転嫁が
大きくなる



次回(第2講)は…

- 独占について勉強します
- 企業は価格を自由に決めることができます
- 価格差別についても学びます